

日時：令和5年7月16日（日）15:25～16:50

場所：パシフィコ横浜 アネックスホール

テーマ：『本を読みなさいと言わない図書館！？』

～読書だけじゃない、全国の優れた11館に選ばれた図書館を公立高校に作っちゃったすごい司書さんのお話し～

講師：埼玉県立飯能高等学校 すみっこ図書館 主任司書 湯川康宏氏

参加者：113人



講演の内容

1. 『すみっこ図書館』って何？

- ・日本一お菓子を配る司書！？ 日本一ぶっ飛んでいる図書館！と言われている。
- ・生徒からは、『風呂さえあれば住める！』と自分の家のように親しまれている図書館。

2. 『パパパコメント』を使ってみよう！

- ・会場の参加者からリアルタイムに質問コーナー。（分科会出席者が自分のスマホから専用のアプリを通じて質問を入力すると、その質問がモニターに投影され、講師が講演中にこたえてくれるシステム）

3. なぜ『読みなさい』と言わないのか

- ・誰も図書館に来ない、そんな場所を『今の状態の正反対にしたら、みんな生徒たちが来てくれるはず！』と考える。
- ・すみっこぐらしのキャラクターは、生徒たちに当てはまる？と考え、本を読まなくても図書館に来てほしい、誰でも居場所が見つかる図書館・多様性を受け入れる図書館を目指す。

4. すみっこ図書館をのぞいてみよう！

- ・すみっこ図書館のコンセプトは、『つなげ屋』 ～人と本だけでなく、人と人、人との、ものともものつなげて新しい世界を作ろう！～
- ・本だけでなく、ゲーム、漫画、コスプレ、テイクアウトぬいぐるみ、おみくじも完備。さらに設備面では、こたつ・ハンモック・ゲーミングチェア・エアロバイク・マッサージチェアまでもが図書館に！楽しい仕掛けがいたるところにある。
- ・図書館の壁には、『飯クシー』なる落書きの絵が20か所以上隠れていて、3つ以上見つけると幸運が訪れる？！と噂に。

5. 図書館に必要なもの

- ・学校図書館の機能は、①読書センター機能、②学習センター機能、③情報センター機能、④教職員への各種支援機能、⑤子どもたちの居場所 と言われている。
- ・本好きな生徒たちだけ集まる場所になってはいないか？ 本を読まない生徒たちこそ図書館に来て欲しいのでは？ 面白い本の紹介だけでは、アレルギー反応を増幅させていないか？
- ・様々な視点から考えることが重要。
- ・★おしゃべりをして怒られない
- ・★図書館で飲食して何が悪い
- ・→静かに本を読みたい・おしゃべりしても大丈夫、この正反対の要求に応えられるか？みんながhappyになるために、みんなが『図書館が好き』になるためには、『子どもたちの居場所としての機能』を最優先にした図書館を考える。

6. 本当に大切なものは目に見えない

- ・それぞれの意識をどう変えるか？固定概念を捨てて、自分の想いを相手に伝える『熱量』が大事。
- ・今は図書館で本を読まなくてもいい。高校3年間の間に図書館が「なんか楽しいところ」って記憶になれば。